

文化芸術に関する意見

【聞き取り先】

- 「第1回懇談会」 第1回 次期「長野県文化芸術振興計画」策定に係る有識者懇談会(R4.6.9)
- 「県政ティーミーティング」 長野県芸術文化協会と知事とのティーミーティング(R4.6.27)
- 「総合計画審議会」 県の総合5か年計画の策定に向けた長野県総合計画審議会における委員意見
- 「オンラインインターンシップ」 県民文化部の学生向けオンラインインターンシップ際に実施した文化芸術に関する意見交換

	意見	分類①	分類②	聞き取り先
1	文化芸術は単純にもっと身近に感じてもらえるものでいいのではないか。	文化芸術の役割	課題	第1回懇談会
2	環境問題に対して芸術文化が強リーダーシップをとるべき。 アーティスト、芸術家、文化施設をリードする人たちは、自分達が先頭を切ってビジョンを示すもの。	文化芸術の役割	めざす姿	第1回懇談会
3	文化芸術がもっと社会の根っこや問題に結びつきながら、生きづらい人間を支えたり、社会に対流を起こす力となり、困難な時代のセーフティネットにもなるようになれるとよい。	文化芸術の役割	めざす姿	第1回懇談会
4	これからの芸術文化振興は社会課題とのリンクが必要になる。	文化芸術の役割	めざす姿	県政ティーミーティング
5	文化芸術スポーツは日常の中で無くてはならないもの。県民にとって、人と人との交流の接点になり、行政からみると、地域社会参画への糸口という意義がある。地域社会の再生のために、経済以上に人の絆の回復が重要。	文化芸術の役割	めざす姿	総合計画審議会
6	文化芸術をもっと総合的に、ホリスティックな(全体的な)ものとして考える時代に来ている。	文化芸術の役割	めざす姿	第1回懇談会
7	社会が不寛容になって、人が生きづらくなっている今こそアーティストの役割とか表現する行為をする人たちの出番ではないか。	文化芸術の役割	めざす姿	第1回懇談会
8	社会教育や学校教育と関われる人材として、アーティストや学芸員をもっとうまく活用できないか。	文化芸術の役割	めざす姿	第1回懇談会
9	映画や美術、文化は学校教育と違い「自分がどう感じるか」ということで評価される。今までの評価軸だけではないものを地域にたくさん置くことが重要。	文化芸術の役割	提言	第1回懇談会
10	アーティストがもっと社会と関われる状況を作ってほしい。	環境整備	課題	第1回懇談会
11	学校現場にも優秀なファシリテーターが必要。	環境整備	課題	第1回懇談会
12	県内に大小多様なアートの現場をつくるのがこれからの5年間でできると良い。	環境整備	めざす姿	第1回懇談会
13	南信州民俗芸能継承推進協議会では、地域の企業がパートナーになって地元の民俗芸能を支える「パートナー企業制度」という取組を行っている。アートにおいても大きな枠組みで地域を巻き込んでいくような仕組み作りが必要だと思う。	環境整備	課題	第1回懇談会
13	地域の芸術文化協会の課題は高齢化と予算不足。最近では自治体が事務局機能を手放したり、予算を減額する傾向にある。	環境整備	課題	県政ティーミーティング
14	行政の財政が厳しいなか、公民館の再活用がアイデアとしてあると思っている。公民館は非常に非中心的なモデルであり、低予算で100人程度の集落といったレベルで文化を広めていける。	環境整備	提言	第1回懇談会
15	なかなかアートにアクセスできない子どもたちがいる。 交通費が出せないという世帯があり、大体がシングルマザーの家庭。このような世帯は今後も増えていく。	環境整備	課題	第1回懇談会
16	文化芸術に触れる機会を子どものころから持てるようにすることで、自分の「好き」を発見できるようにするべき。	環境整備	めざす姿	オンラインインターンシップ
17	小・中学校とアーティスト、文化芸術団体の長期間にわたる連携体制を構築することで、子ども達の文化芸術に対する関心を高める。	環境整備	提言	オンラインインターンシップ
18	文化芸術活動を行う団体が存続し満足のいく活動ができるような活動場所と経済面と人員面など辛いところに手が届く支援体制を設けることが必要。	環境整備	提言	オンラインインターンシップ

	意見	テーマ	分類	聞き取り先
19	アーティストの育成はもちろん、アートスタッフの育成という視点も大切。	人材育成	課題	第1回懇談会
20	地域の文化協会は高齢化によりリーダーが不足している。芸術文化活動はリーダーが大事であり、文化芸術団体のリーダーのレベルを向上していく努力が必要。	人材育成	課題	県政ティーミング
21	専門人材をどうやって支えるか、後継者をどう作っていくか。ニーズがあってもそれに応えるだけの人材を地域が支える仕組みがない。	人材育成	課題	第1回懇談会
22	文化施設がクールダウンできる施設に自動的になるとか、災害対応と文化芸術がリンクする考え方が入ってくるとよい。	文化施設	課題	第1回懇談会
23	美術館は観光に引っ張られており、社会教育や学校教育に自覚的に重心を預けてバランスを取っていく必要がある	文化施設	課題	第1回懇談会
24	学校現場以外の場所が学びの場として認められる流れがきている。美術館や文化ホールも十分に現場の受け皿になりうる。	文化施設	課題	第1回懇談会
25	美術館や文化施設はパブリックスペース(公共空間)であり、子どもやお年寄り、車椅子の人も含めて、住民が簡単にアクセスできるか、日本の美術館は1回その視点に立ち戻るべき。	文化施設	課題	第1回懇談会
26	文化施設に市民がいろいろな形で接点を持ち、出入りしやすくなるとよい。	文化施設	課題	第1回懇談会
27	いろいろなことに触れたいと思っている一般市民にとって文化施設や美術館が拠点として機能するには何が必要か、考える必要がある。	文化施設	課題	第1回懇談会
28	アウトリーチやワークショップを地域で展開していく中で、学校や公民館に受け入れてもらうには信頼が大前提となるが、その際、公共ホールが担う役割は大きい。大きな意味でのアートスタッフとして、NPOも公共ホールのスタッフもアーティストも、いろいろな人が出会う場が多くあった方がよい。	文化施設	課題	第1回懇談会
29	地域の民俗芸能が10年～20年後にいくつ残るのか危機感を持っている。30年前は12あった祭りが今8に減少しており、せっかく残してきた地域の文化がなくなりつつある。	伝統芸能	課題	第1回懇談会
30	民俗芸能の変遷を知っている方が今どんどん亡くなっていて、その芸能の持つ意味が分からなくなっている。	伝統芸能	課題	第1回懇談会
31	民俗芸能は地域の中で人によって育まれた伝統文化であり、それはすなわち地域の歴史・魅力である。記録調査を行い、その民俗芸能が持っている価値を見いだすことが大事。	伝統芸能	提言	第1回懇談会
32	地域の伝統文化(芸能、工芸、祭りなど)の活性化・継承が重要。社会的地位向上と発信強化が必要。文化と経済が融合し、経済の力文化をもっと発展させる。	伝統芸能	提言	総合計画審議会
33	情報の出し方や必然的な場作りとして、学校を通じた情報発信等もう少しうまくできないか。	文化芸術へのアクセス	課題	第1回懇談会
34	文化芸術は、常に簡単に触れることができ、意識していなくても自然に接しているものになるといい。	文化芸術へのアクセス	めざす姿	第1回懇談会
35	文化芸術は特別な存在だという意識があるが、もっと身近にどこにでも文化芸術があふれている環境をつくっていくべき。	文化芸術へのアクセス	めざす姿	県政ティーミング
36	どこにいても芸術に触れられる機会を作ることが重要。	文化芸術へのアクセス	めざす姿	オンラインインタビュー
37	今回のコロナ禍は歴史の中でも大きな転換点であり、文化芸術を通じて地域を守る・作るという面でこれからの5年間は本当に大事な時期。	その他	課題	第1回懇談会
38	県民全体の芸術に対する意識が活性化した県にしてほしい。	その他	めざす姿	オンラインインタビュー